

1. 科目名 (単位数)	保健医療 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP1302 SNMP1302 SCMP1302 SBMP1302 SPMP1302 PSMP1302 GELA1330 GELA1350
2. 授業担当教員	橋本 由利子		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>疾病構造の変化や人口の高齢化、医療施設から在宅医療への流れが進んでいる現在、保健医療に係る政策や制度はより現状に即したものに変わっていく必要がある。この科目では医療保険制度の概要と医療費に関する政策的動向、診療報酬制度の概要、保健医療に係る各専門職の役割や多職種連携についての基礎的な理解を深めるとともに、保健医療の課題を持つ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。インフォームドコンセントやアドバンス・ケア・プランニング (ACP)、尊厳死や身体抑制の問題など保健医療に係る倫理的問題についても学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療の動向を理解し、説明することができるようになる。 2. 保健医療に係る政策、制度 (医療保険制度や診療報酬制度も含む)、サービスについて理解し、説明することができるようになる。 3. 自己決定権の尊重や尊厳死など保健医療に係る倫理について理解し、説明することができるようになる。 4. 保健医療領域における各専門職の役割と、連携や協働について理解し、説明することができるようになる。 5. 保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解し、説明することができるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. その日に学習したことを整理するために、毎回ワークシートを提出する。 2. 自分や家族が病気になった時の体験について、レポートにまとめ、発表する。 3. グループで医療ソーシャルワーカーの支援の実際の事例をまとめ、発表する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 5 保健医療と福祉』中央法規、2021</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度及び診療報酬制度の概要、医療費に関する政策的動向を理解し、説明することができるか。 2. 保健医療における各専門職の役割と連携、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解し、説明することができるか。 <p>○評定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の授業態度 (参加・実践・小テスト等) 30% 2. 期末試験・レポート等 70% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>福祉を志す人は、医療保険制度や保健医療の諸問題に常に敏感になるとともに、患者や家族の気持ちを理解し、気持ちに寄り添えるようになることが重要である。ニュースや新聞をよくチェックし、現在起きているさまざまな医療問題についてその背景を考察し解決策を考えよう。あなたが考える対策がこれからの日本の将来を決めるかもしれない。</p> <p>[受講生に期待される学習態度]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は常に高い緊張感と集中力をもって受講すること。学生の積極的な態度が望まれる。 2. 授業中、授業外に進んで教師に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. レポートの提出期限は厳守すること。事情によって提出日に間に合わない場合は講師にそのことを文書で伝え許可をとるようにする。 4. 授業中の私語、携帯電話の使用は絶対にしないこと。守れない場合は退室のこと。 <p>[講師は次のことを実行する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話をするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用については厳格に対処する。 		
13. オフィスアワー	授業開始時にお知らせします。質問はメールでも受け付けます。yuhashim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス 保健医療の課題を持つ人の理解 (1) 病者の理解	事前学習	教科書 pp. 2~12 を読んでくる
		事後学習	病気や医療についての自己の体験をまとめる
第 2 回	保健医療の課題を持つ人の理解 (2) 家族の理解	事前学習	教科書 pp. 13~23 を読んでくる
		事後学習	疾病や障害が家族に与える影響についてまとめる
第 3 回	保健医療の課題を持つ人の理解 (3) 患者の権利	事前学習	教科書 pp. 23~30 を読んでくる
		事後学習	患者の権利、インフォームド・コンセント、インフォームド・アセントについてまとめる

第4回	医療倫理 生殖医療、移植医療、終末期医療の倫理、ACPについて	事前学習	教科書 pp. 34～50 を読んでくる
		事後学習	医療倫理、ACP の重要性についてまとめる
第5回	保健医療の動向 (1) 疾病構造の変化 (2) 入院医療から在宅医療へ	事前学習	教科書 pp. 52～73 を読んでくる
		事後学習	疾病構造の変化、地域完結型医療についてまとめる
第6回	保健医療の動向 (3) 保健医療における福祉的課題	事前学習	教科書 pp. 74～83 を読んでくる
		事後学習	難病、ターミナルケア、認知症等と福祉的問題についてまとめる
第7回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスのに関する知識 (1) 保健医療の政策・制度 (2) 保健医療サービスの提供体制	事前学習	教科書 pp. 86～103 を読んでくる
		事後学習	保医療制度の体系、医療法の概要についてまとめる
第8回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスのに関する知識 (3) 医療費の保障	事前学習	教科書 pp. 105～117 を読んでくる
		事後学習	医療保険と労災保険、診療報酬制度についてまとめる
第9回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスのに関する知識 (4) その他の政策・制度	事前学習	教科書 pp. 118～125 を読んでくる
		事後学習	介護保険制度、公費負担医療制度、介護保険制度についてまとめる
第10回	保健医療領域における専門職の役割と連携 連携する専門職と医療チーム	事前学習	教科書 pp. 128～133 を読んでくる
		事後学習	医療専門職の役割、チームモデルについてまとめる
第11回	保健医療領域における支援の実際 (1) 保健医療領域における医療ソーシャルワーカーの役割	事前学習	教科書 pp. 162～174 を読んでくる
		事後学習	医療ソーシャルワーカー業務指針、医療ソーシャルワークの歴史についてまとめる
第12回	保健医療領域における支援の実際 (2) 保健医療領域における支援の実際 回復期リハビリテーション、自宅退院、在宅医療、終末期ケアにおける支援の各事例について	事前学習	教科書 pp. 175～200 を読んでくる
		事後学習	回復期リハビリテーション、自宅退院、在宅医療、終末期ケアにおける支援についてまとめる
第13回	保健医療領域における支援の実際 (2) 保健医療領域における支援の実際 救急現場、周産期、認知症患者、災害現場における支援の各事例について	事前学習	教科書 pp. 200～222 を読んでくる
		事後学習	救急現場、周産期、認知症患者、災害現場における支援の各事例についてまとめる
第14回	保健医療領域における支援の実際 (2) 保健医療領域における支援の実際 (学生発表)	事前学習	保健医療領域における支援の実際についての発表の準備
		事後学習	保健医療領域における支援についてまとめる
第15回	これからの保健医療と福祉の課題について	事前学習	今まで学んだことを振り返る
		事後学習	これからの保健医療と福祉の課題についてまとめる
期末試験			